

株式会社ソルクシーズ（東証1部：4284）



SOLXYZとは"solution"と"xyz"を合成したもので、究極の問題解決を提供したいという願いが込められています。私たちはお客様の夢を実現するソリューション・カンパニーを目指します。

2020年12月期
第2四半期

機関投資家向け
説明資料

2020年8月
<https://www.solxyz.co.jp/>

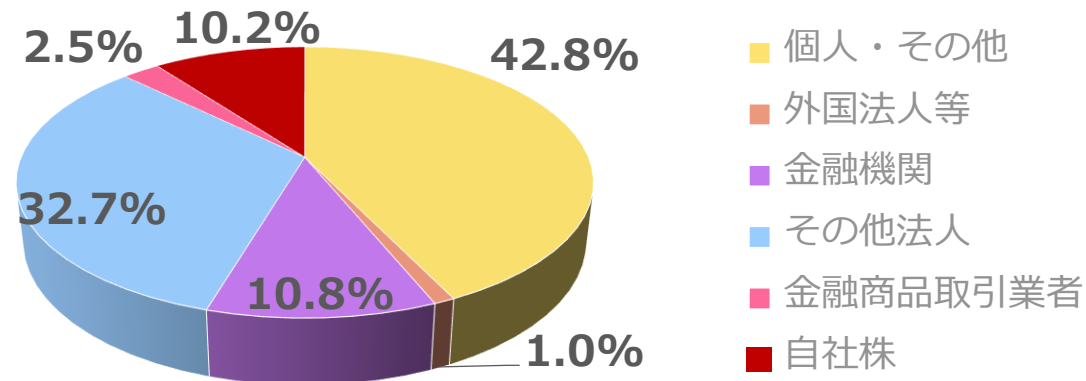
会社概要・グループ戦略



会社概要

商号:	株式会社ソルクシーズ (SOLXYZ Co., Ltd.)
設立:	1981年2月4日
事業内容:	ソフトウェア開発・運用・保守、組み込みソリューション
本社所在地:	東京都港区芝浦3-1-21
資本金:	14億9,450万円 (2020/6月末現在)
決算期:	12月31日
従業員数	連結:746名 2020/6月末
役員:	代表取締役社長 長尾 章 他常勤取締役 10名、社外取締役 3名、監査等委員設置
子会社:	11社

2020/6末 株主構成



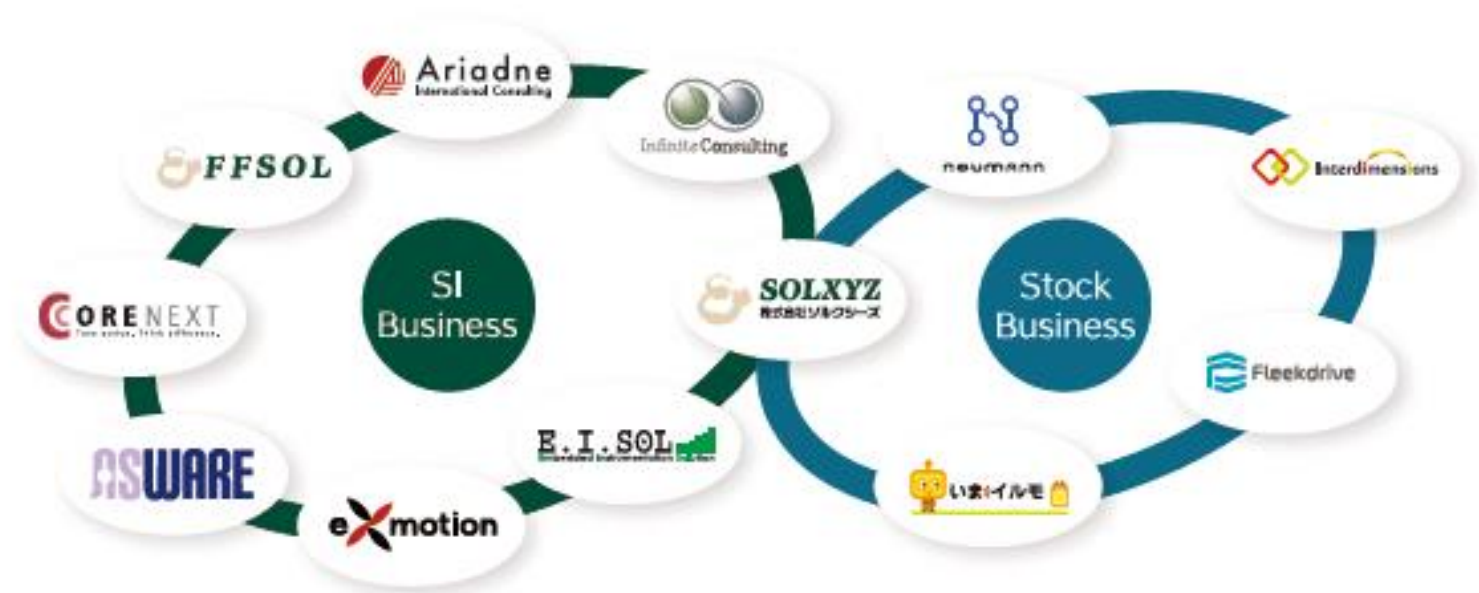
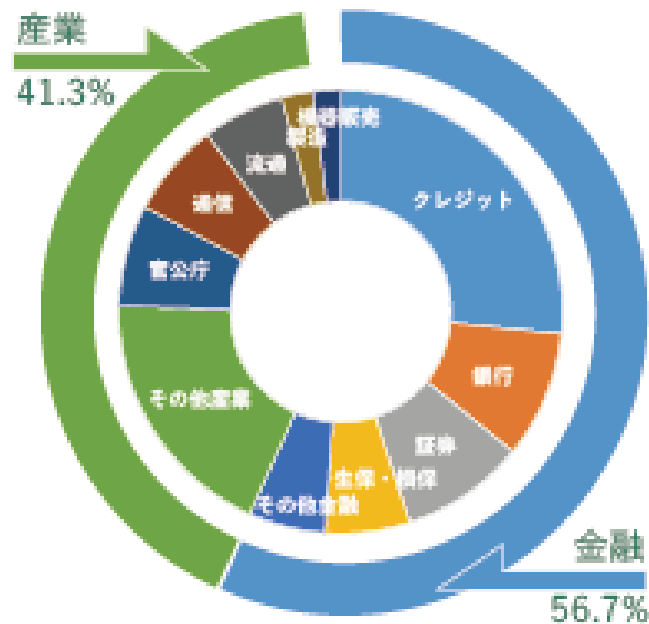
代表取締役社長 長尾 章

1955年2月23日生
1983年3月 トータルシステムコンサルタント設立 取締役
1998年1月 合併により当社専務取締役
2006年3月 当社代表取締役社長に就任
他グループ企業10社の取締役兼務

グループ構成

- ソフトウェア開発売上げが全体の90%超、うち56%を金融系が占める
クレジット系などを中心にソリューションを提供
- IoTや自動運転等、専門技術に長けた子会社11社を統括

業種別の構成比



当社グループの成長モデル

- 継続的成長に向け、S I ビジネスとストックビジネスの両輪を拡大（両輪施策）
（ストックビジネスについてはM&Aを主軸に展開）
- 利益率向上に向けた、組込み（自動車、I o T 等）領域への拡大
- スタートアップ企業への出資と育成による新技術領域と I P O 企業の創出

クレジット領域の強化

2020年4月
クレジット系の会社を子会社化



クラウドサービスの拡大



2019年5月
クラウドサービス事業を子会社化

業績概要： 2020年12月期第2四半期決算



第2四半期 総括

■ 売上高： **6,400**百万円（前年同期比**-3.8%**）

営業利益： **360**百万円（同**-2.3%**）

・・・案件の期ズレが発生も、売上高は概ね計画どおり。利益面も期初の計画どおりの減益ラインで着地

■ **本体はSBIグループ関連の案件やFinTech関連が進捗**

・・・SBIグループと銀行の開発案件が好調、FinTech関連の開発が加速の他、クレジット分野を強化

■ **子会社では一部減収も、下期に持ち直し予定**

・・・一部子会社で新型コロナウイルスの影響が出たものの、下期は回復予定

■ **通期業績予想は変更なし**

・・・もとより下期偏重の計画のため、計画に変更は無し

第2四半期決算 損益サマリー（計画比）

- ・子会社の案件期ズレやSI受託開発の受注サイクルの底入れなどにより、売上高は計画比未達
- ・粗利率の向上や、研究開発費を一時的に抑制したため、営業利益以下の利益は計画を超過

(単位：百万円)	2020/12期 2Q 計画	売上高比	2020/12期 2Q 実績	売上高比	計画比
売上高	7,000	-	6,400	-	-8.6%
売上総利益	1,550	<u>22.1%</u>	1,460	<u>22.8%</u>	-5.8%
販売管理費	1,200	17.1%	1,100	17.2%	-8.3%
営業利益	350	<u>5.0%</u>	360	<u>5.6%</u>	2.9%
経常利益	350	<u>5.0%</u>	381	<u>6.0%</u>	9.0%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	230	3.3%	255	4.0%	11.3%

第2四半期決算 損益サマリー（前期比）

- ・子会社の案件期ズレや受注サイクル底入れ等により、減収
- ・当初より戦略的投資による減益予想としていたため、利益面は想定どおりの減益ラインで着地

(単位：百万円)	2019/12期 2Q	売上高比	2020/12期 2Q	売上高比	前年同期比 増減率
売上高	6,654	-	6,400	-	-3.8%
売上総利益	1,475	22.2%	1,460	<u>22.8%</u>	-1.0%
販売管理費	1,106	16.6%	1,100	17.2%	-0.6%
営業利益	368	5.5%	360	<u>5.6%</u>	-2.3%
経常利益	375	5.6%	381	<u>6.0%</u>	1.6%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	216	3.3%	255	4.0%	18.3%

新型コロナウイルスの業績への影響・見通しについて

- ・ 第2四半期は緊急事態宣言の影響により開発の延伸等が発生した子会社も出たが、現在は回復傾向
- ・ テレワークの加速等プラスの影響も出ており、現時点では下期も大きな影響は出ない見込み

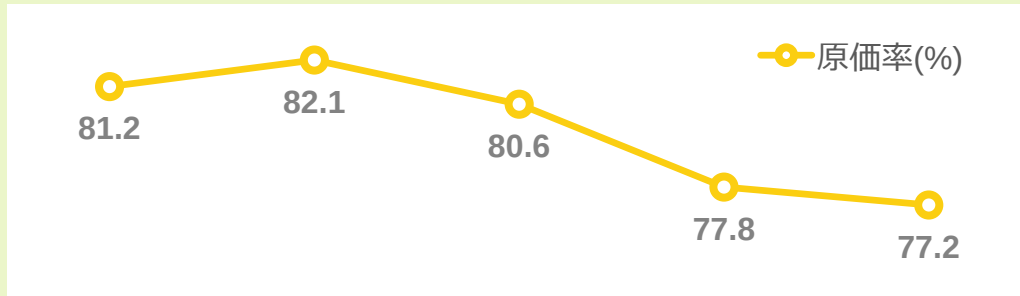
新型コロナウイルスによる主なグループ会社への影響（現時点）

会社名	影響度		影響の詳細・今後の見通し
	上期	下期予想	
ソルクシーズ（本体）	僅少	僅少	大きな悪影響は無し。今後はキャッシュレス化の加速などにより、クレジット分野に好機の可能性あり
エクスマーシオン	中～大	小	テレワークや自宅待機により減収減益。一方で教育関連がWEB会議の進展で拡大
イー・アイ・ソル	中	小	テレワークにより一部案件が期ズレも、案件回収の目途はたち、延伸などの影響も小幅
ノイマン	大	小	自動車教習所の営業自粛やベトナム向け開発が遅れ影響大。営業再開により、下期後半よりV字回復予定
Fleekdrive	小	僅少	展示会の中止などあるも、テレワーク無償キャンペーンにより大量の無償契約の獲得に成功
その他子会社	僅少	僅少	現時点では概ね影響は僅少

費用 & 利益構造の過年度推移

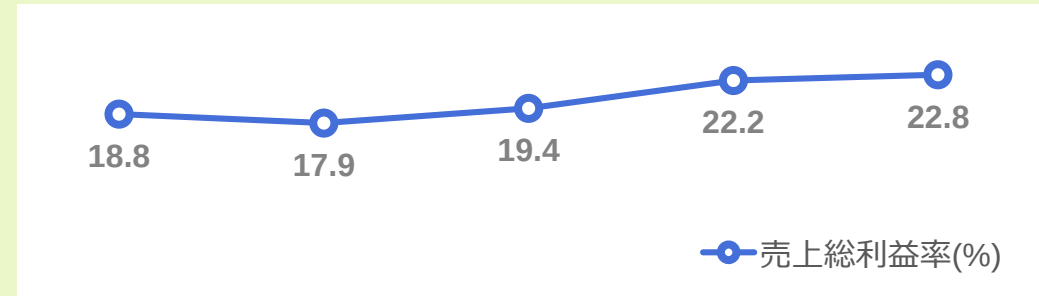
- ・利益率の高い組込み系、ソリューションサービスの伸長等により、原価率、粗利率は改善傾向に
- ・販管費はやや上昇も、売上総利益の上昇で吸収、営業利益率も上昇傾向

売上原価率



16/12期 2Q 17/12期 2Q 18/12期 2Q 19/12期 2Q 20/12期 2Q

売上総利益率



16/12期 2Q 17/12期 2Q 18/12期 2Q 19/12期 2Q 20/12期 2Q

販管費率



16/12期 2Q 17/12期 2Q 18/12期 2Q 19/12期 2Q 20/12期 2Q

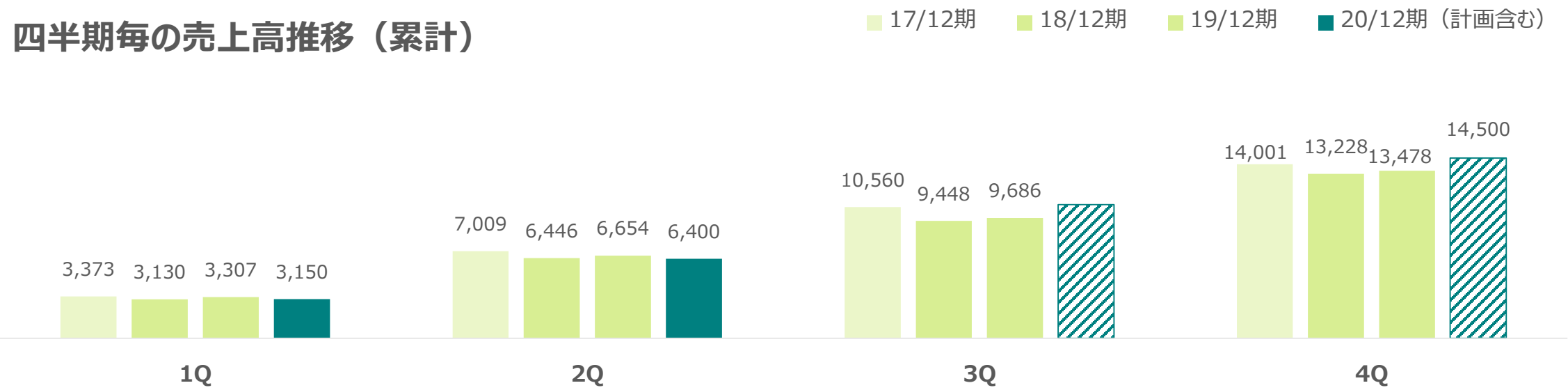
営業利益率



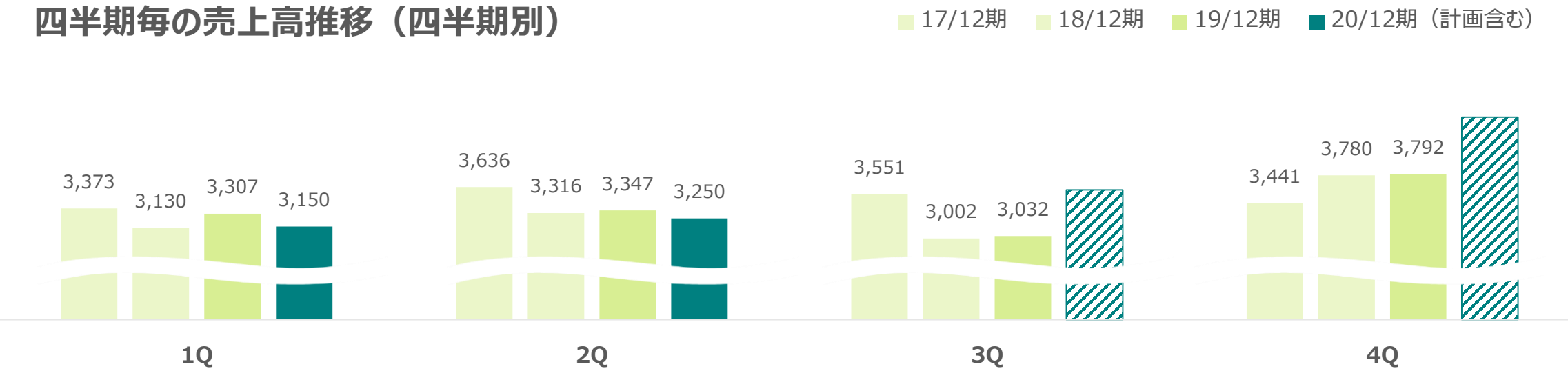
16/12期 2Q 17/12期 2Q 18/12期 2Q 19/12期 2Q 20/12期 2Q

損益サマリー四半期別推移（売上高）

四半期毎の売上高推移（累計）

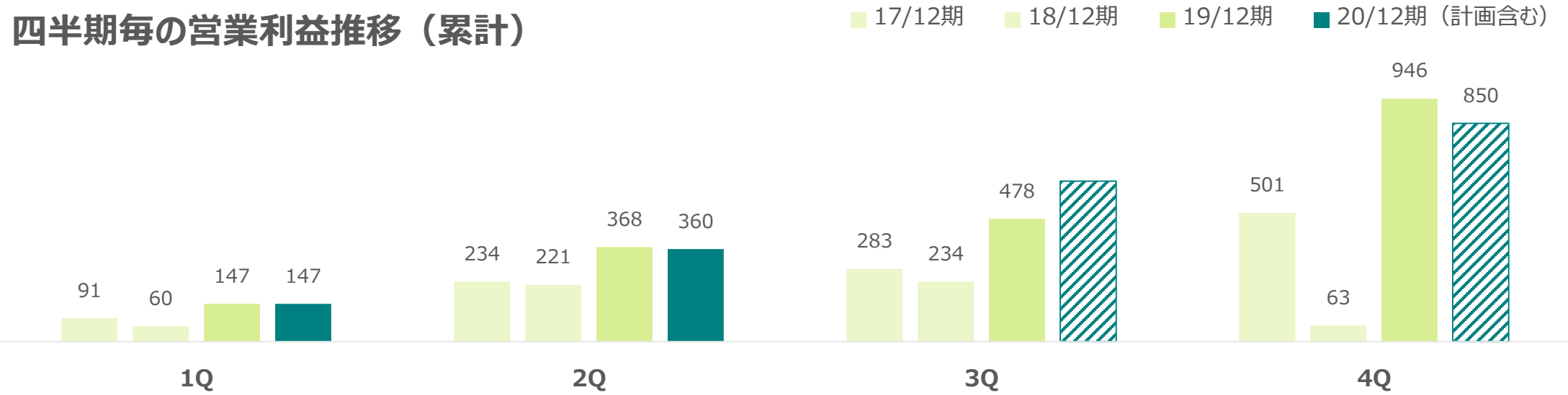


四半期毎の売上高推移（四半期別）

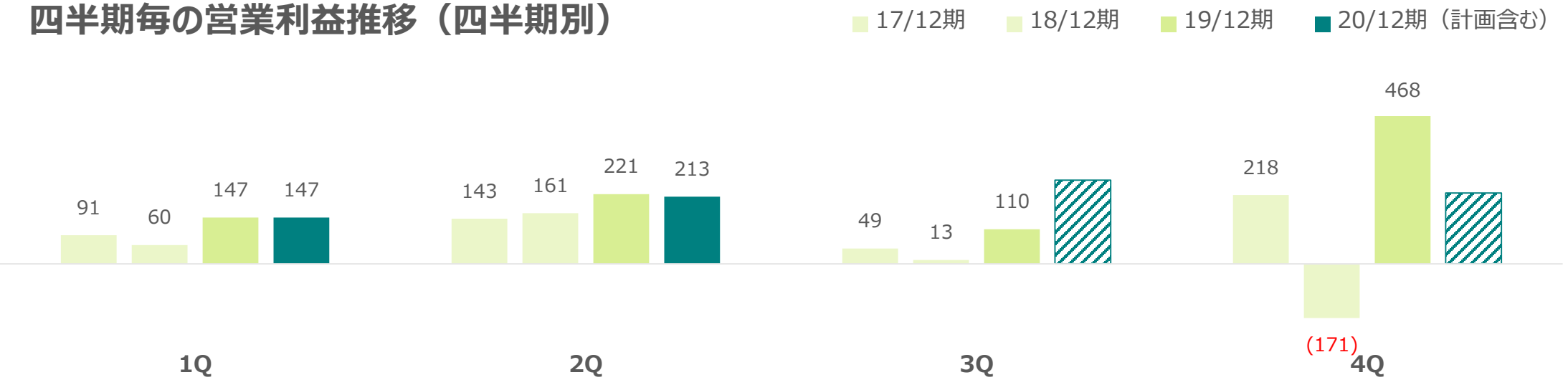


損益サマリー四半期別推移（営業利益）

四半期毎の営業利益推移（累計）



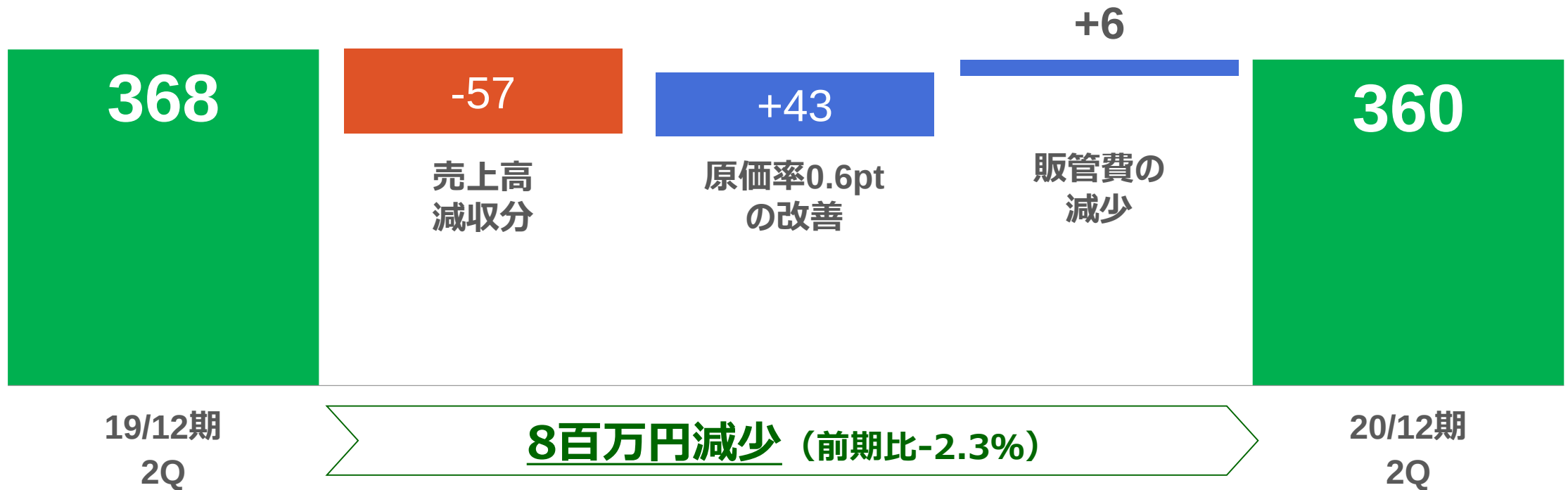
四半期毎の営業利益推移（四半期別）



営業利益の変動要因

- ・営業利益は前期比-2.3%の減少も、期初の計画どおりの減益ラインで着地
- ・クラウドサービス等の伸長により原価率が改善、計画比では+2.9%となった

(百万円)

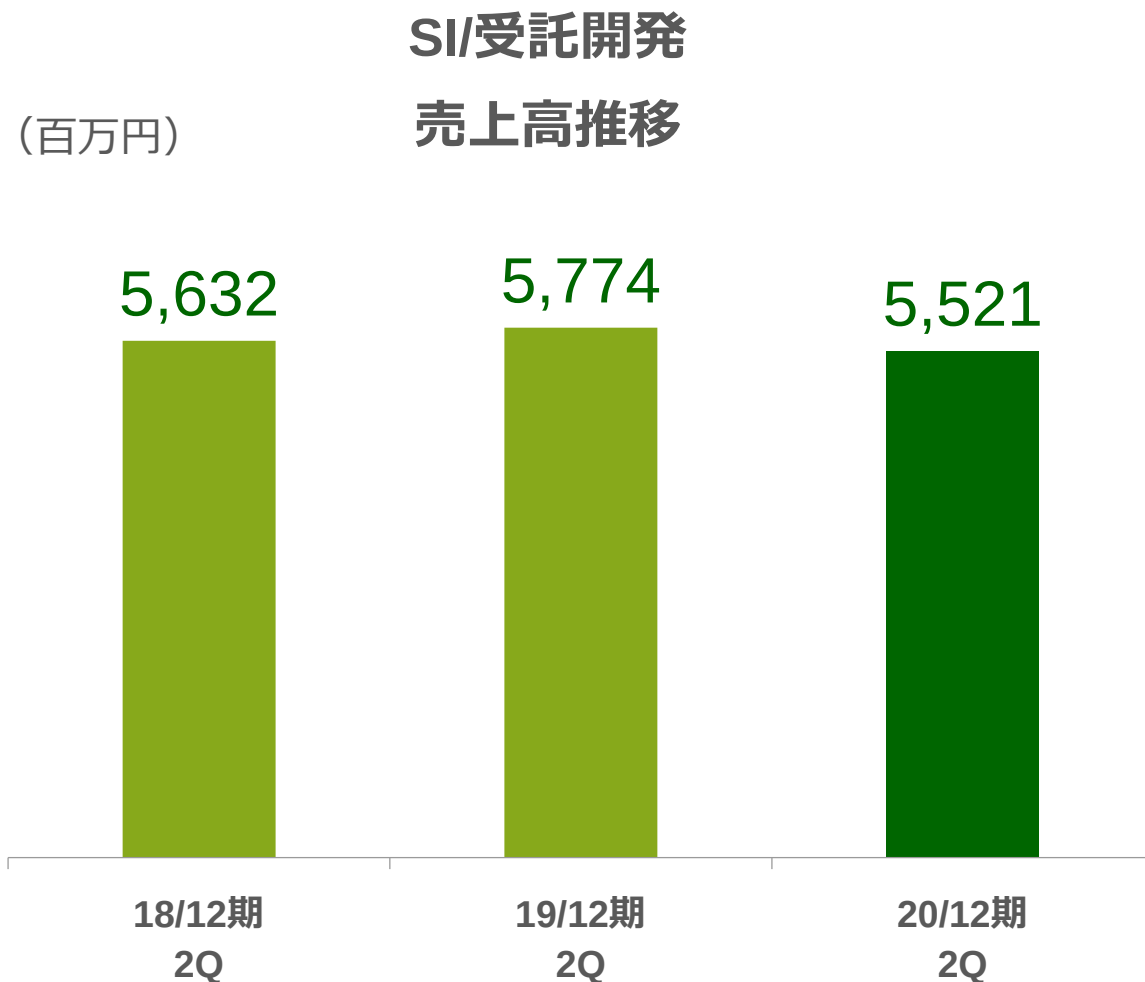


セグメント別損益の前期比

- ・SI/受託開発は銀行などFinTech関連が伸長も、受注サイクルのピークオフもあり減収
- ・ソリューション事業はFleekdriveの貢献等により、増収を達成

(単位：百万円)		2019/12期 2Q	売上高比	2020/12期 2Q	売上高比	前年同期比 増減率
売上高 (A+B)		6,654	-	6,400	-	-3.8%
ソフトウェア開発 (A)		6,480	97.4%	6,275	98.0%	-3.2%
SI / 受託開発		5,774	86.8%	5,521	86.3%	-4.4%
ソリューション		706	10.6%	<u>754</u>	<u>11.8%</u>	<u>6.7%</u>
デジタルサイネージ (B)		173	2.6%	125	2.0%	-27.5%

セグメント別推移-ソフトウェア開発事業-1（S Iビジネス）



□ 売上高：5,521百万円

前期比：-4.4%

- ✓ 金融系は銀行系などFinTech関連が伸長
- ✓ 新型コロナウイルスの影響や戦略的投資により、エクスマーションが大きく減収
- ✓ その他子会社案件の期ズレがあったが、既に回収

※当セグメントの詳細

情報システムの分析、設計～開発、移行・保守サービスが主な対象

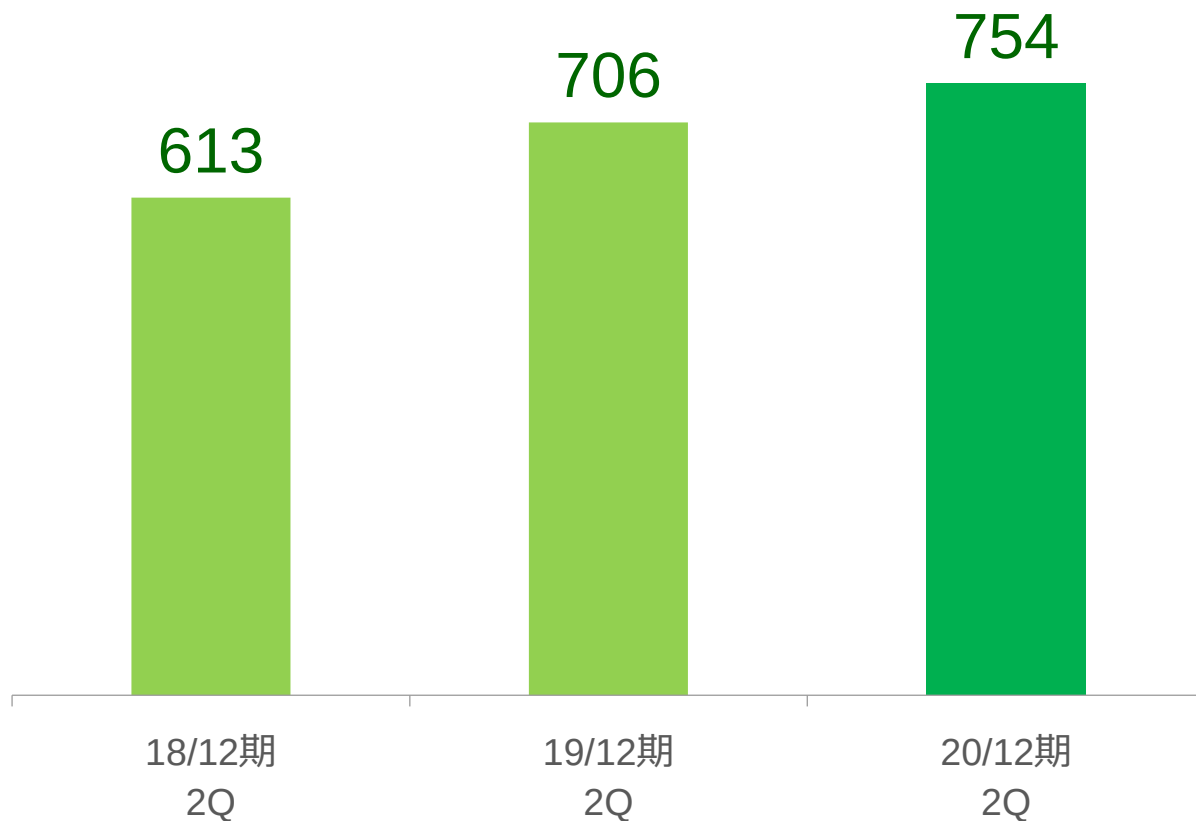
計上対象の売上げ：

当社本体、エフ・エフ・ソル、イーアイ・ソル・インフィニットコンサルティング、エクスマーション、コアネクスト、アスウェアの各売上げ

セグメント別推移-ソフトウェア開発事業-2（ソリューションビジネス）

ソリューション事業 売上高

（百万円）



□ 売上高：754百万円

前期比：+11.8%

- ✓ 昨年より分社化したクラウドサービスのFleekdriveが堅調に推移
- ✓ 売上高構成比が増加しており、粗利率も高いため、全体の収益力強化に貢献

※当セグメントの詳細

パッケージソフトのライセンス、カスタマイズ・保守、セキュリティコンサルティング関連が主な対象

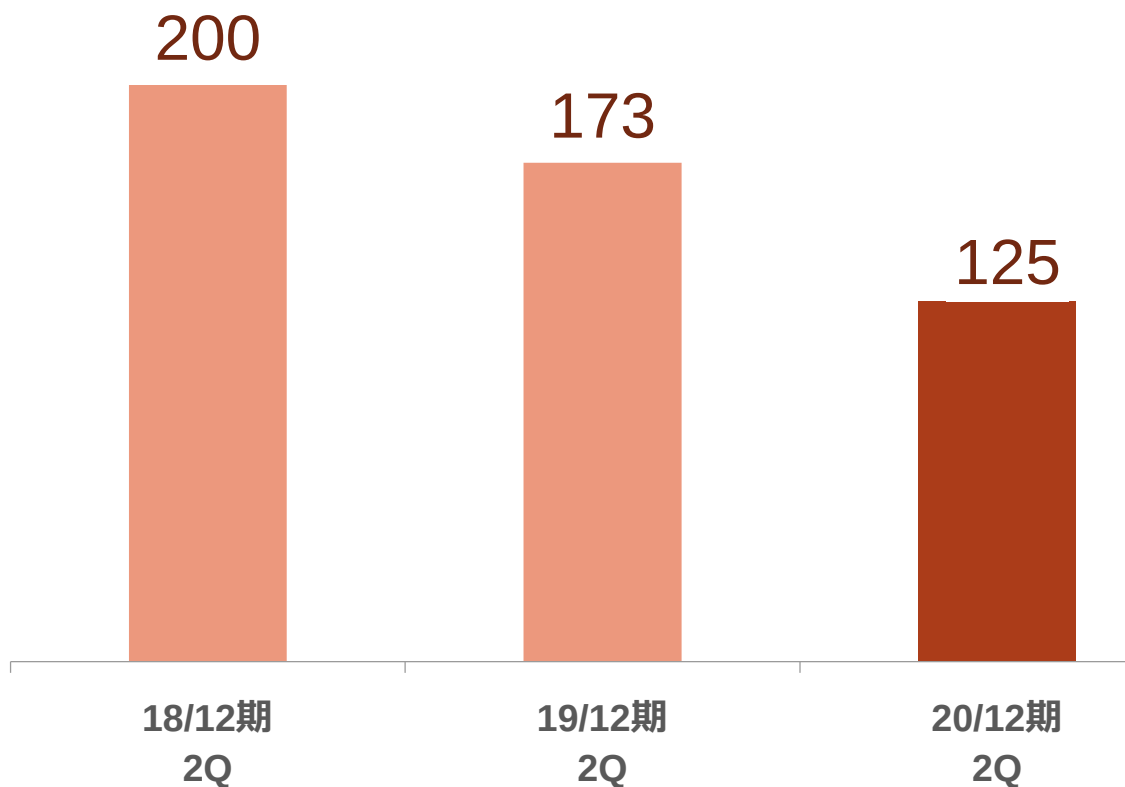
計上対象の売上げ：

ソルクシーズのソリューション部（機器販売除く）、IoT&クラウド事業推進部の売上、及び連結子会社ノイマン、Fleekdriveの売上げ

セグメント別推移-デジタルサイネージ事業

デジタルサイネージ事業 売上高 推移

(百万円)



□ 売上高：125百万円

前期比：-27.5%

- ✓ 上期は新型コロナウイルスの影響もあり、減収
- ✓ 自社のIoT技術を活用し、「雨量モニタリング」システムの実証実験を開始、産学官での新しい試みをスタート（東北大学・宮城県東松島市が協力）

※当セグメント計上対象の売上げ：

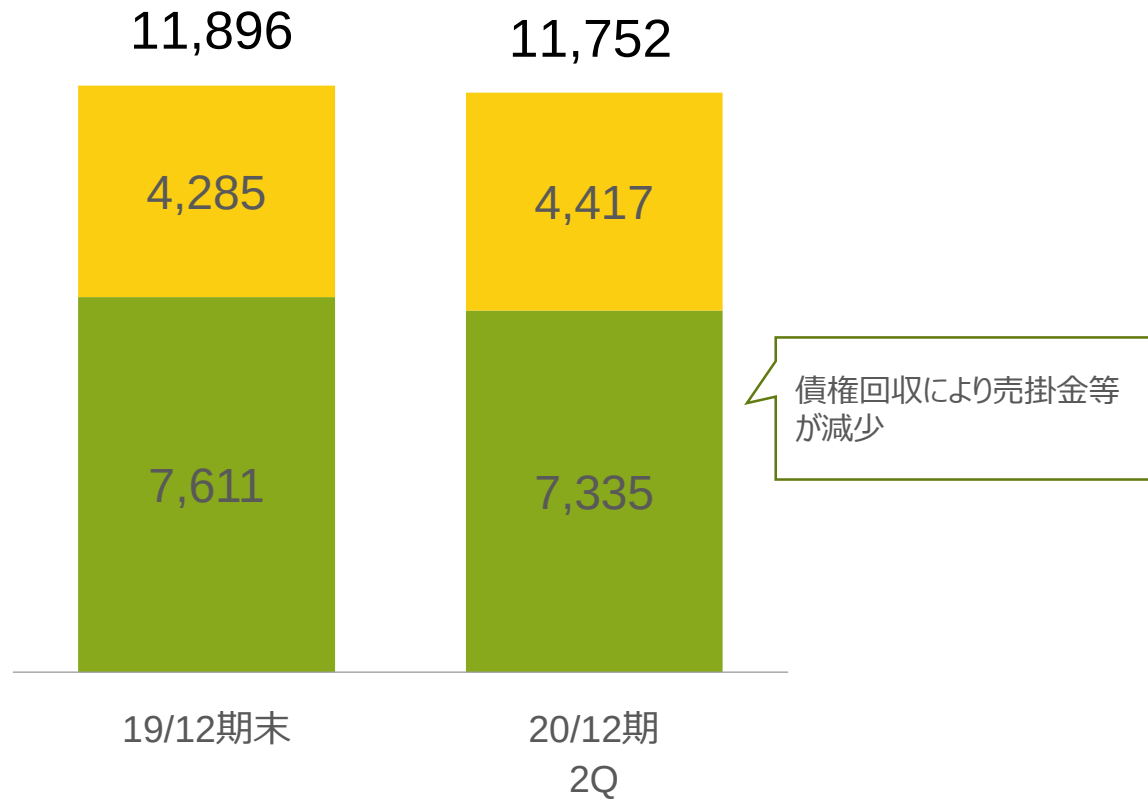
S/I受託開発、ソリューション業務以外の売上げ＝インターディメンションズの売上げが対象

貸借対照表

・大きな変化は無く、自己資本比率も50.5%と健全な範囲で推移

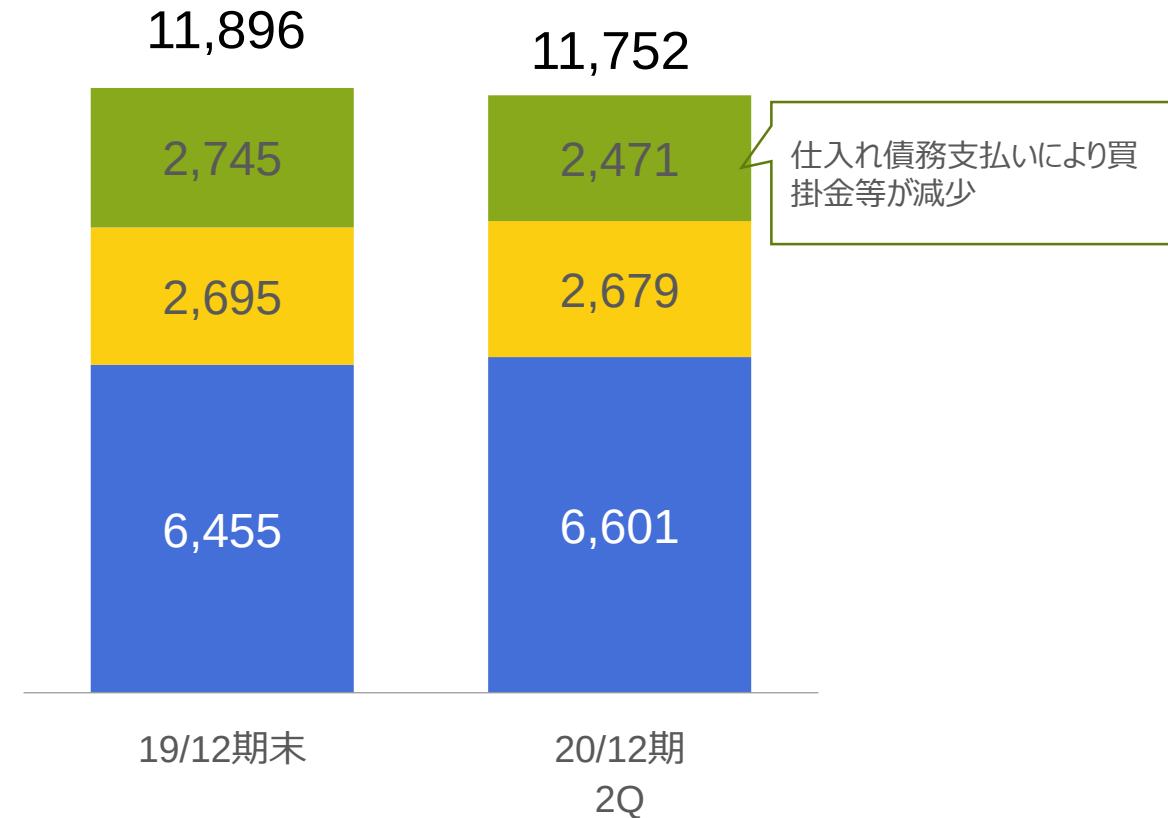
資産

■ 固定資産 ■ 流動資産



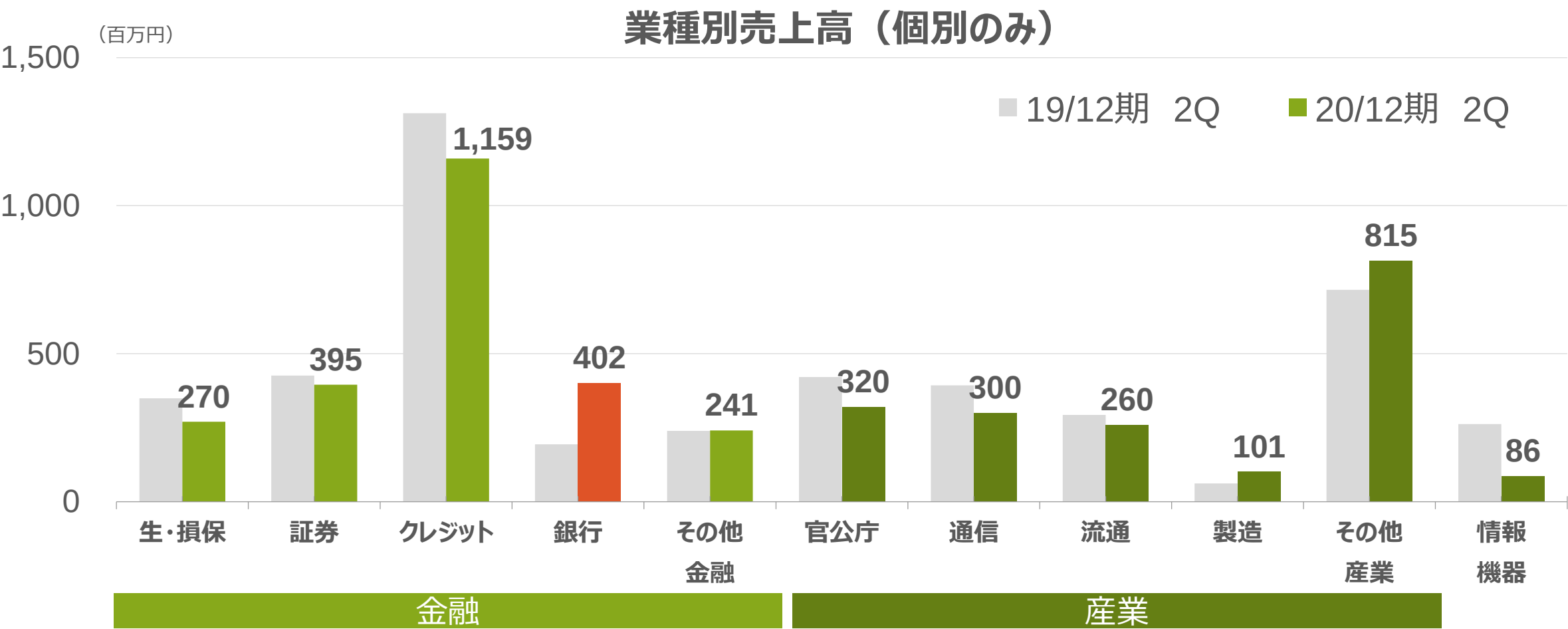
負債・純資産

■ 流動負債 ■ 固定負債 ■ 純資産



業種別売上高の内訳（個別のみ）

- ・銀行関連（FinTech関連）が好調も、その他が減収
- ・クレジット分野は受注サイクルの底に当たり減収も、大型受注残が複数あり、今後も堅調に推移予定



グループ会社の業績概要イメージ（2Q累計売上高）

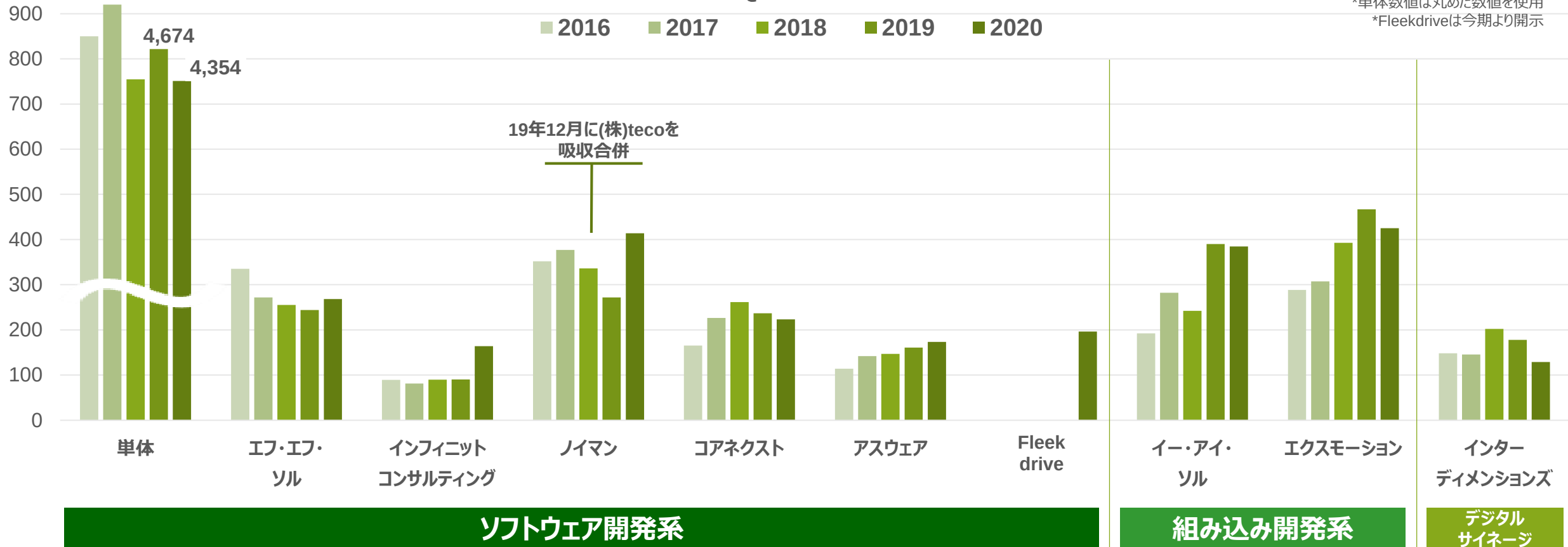
- ・銀行系に強いエフ・エフ・ソルが伸長
- ・新型コロナウイルスの影響を受ける子会社もあったが、下期には概ね回復予定

（百万円）

各子会社の2Q売上高 5か年推移*

2016 2017 2018 2019 2020

*子会社数値は非開示（左軸）
*単体数値は丸めた数値を使用
*Fleekdriveは今期より開示



各子会社・単体の業績概況

業務系受託ソフトウェア・コンサルティング業務

業績（前年同期比）



(株)インフィニットコンサルティング

コンサル案件を順調に受託



業務系受託ソフトウェア・開発業務



(株)エフ・エフ・ソル

FinTech案件が寄与し、回復基調



(株)コアネクスト

新規顧客開発の流れが影響



(株)アスウェア

豊富な案件を背景に堅調に推移



業務系ソリューションサービス



(株)ノイマン

コロナ禍により減収も利益は確保
*昨年12月に子会社tecoを吸収合併



(株)Fleekdrive（フリークドライブ）

今期より開示。テレワーク需要もあり堅調



組込コンサルティング業務

業績（前年同期比）



(株)エクスモーション

コロナ禍により売上・利益ともに影響大



組込系開発業務・ソリューションサービス



(株)イー・アイ・ソル

IoTソリューション、受託開発ともに順調も
期ズレにより減収



デジタルサイネージ事業



(株)インターディメンションズ

コロナ禍による活動自粛が影響



ソルクシーズ単体

単体



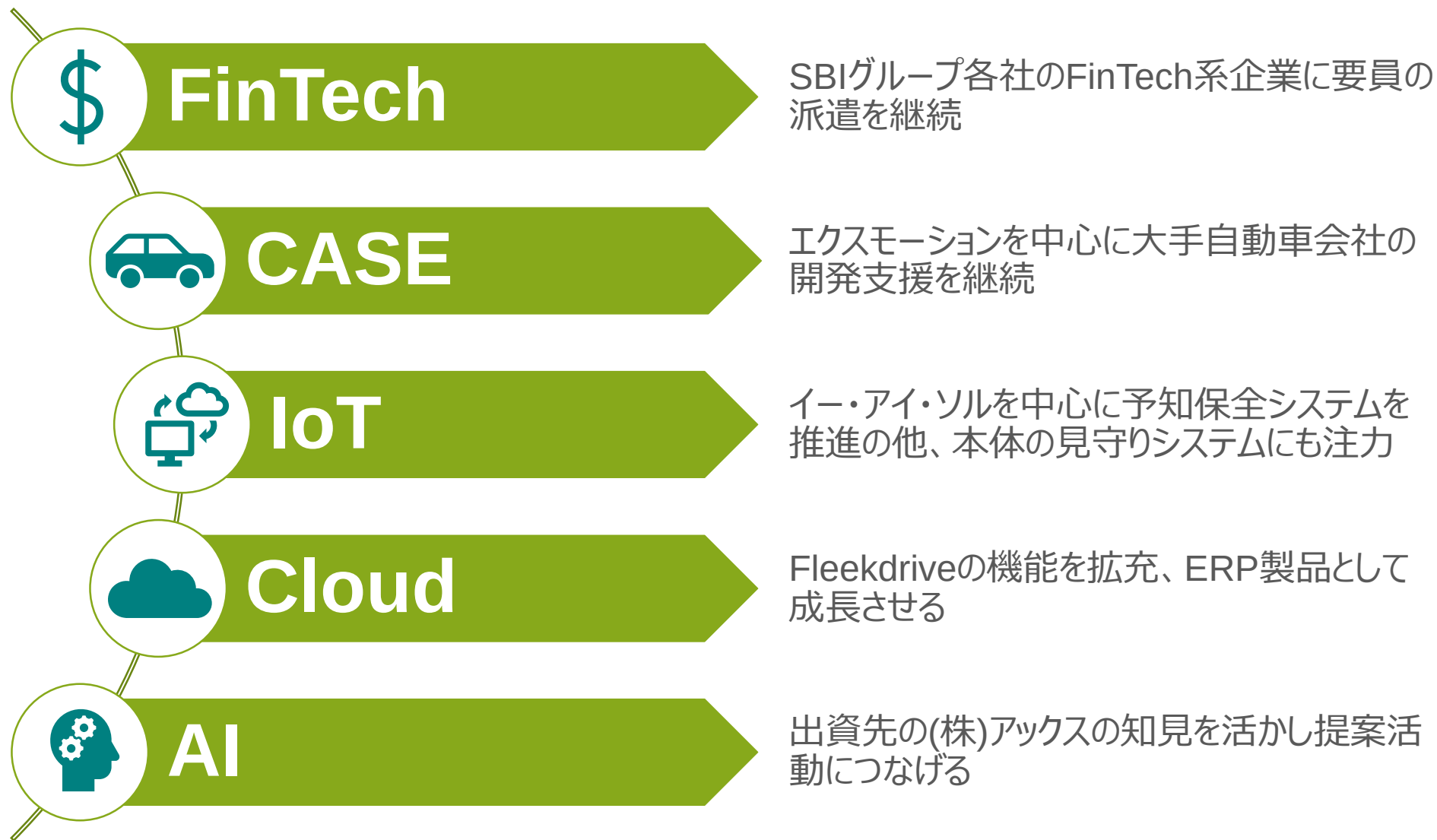
(株)ソルクシーズ（単体）

Fleekdriveの分社化もあり減収も、
販管費低減などにより増益



ソフトウェア開発事業

注力領域の状況



FinTech関連の伸長-1

- ・DXやFinTechの流れにより、SBIグループのプラットフォーム活用等による地方銀行のデジタル化需要が旺盛
- ・SBIグループが筆頭株主 & 銀行系開発に強い子会社を持つユニークなポジションが奏功し、案件増加中

FinTech関連案件受注の背景



FinTech関連の伸長-2（クレジット分野の強化）

2020年4月、クレジット向けコンサルティングサービスを行う(株)アリアドネ・インターナショナル・コンサルティングと資本業務提携、連結子会社化
拡大するキャッシュレス、コード決済分野の強化を図る



会社名	(株)アリアドネ・インターナショナル・コンサルティング
事業内容	新決済・キャッシュレス決済におけるコンサルティング、国際ブランドに関連するカード分野でのコンサルティングの他、キャッシュレス決済にかかわる教育・出版事業
設立	2020年2月14日
資本金	3百万円（2020年2月末）
取得内容	取得株式数：1,000株（議決権所有割合76.9%） 取得価格：10百万円

FinTech関連の伸長-2（クレジット分野の強化）

- ・大手携帯通信会社の決済サービス構築のコンサル実績もあるアリアドネの参画により、利益率の高い上流工程までカバー、クレジット領域のワンストップでの開発体制を構築し、収益力強化

コンサルティング領域強化により、付加価値&利益率が向上へ



市場規模：クレジットカード市場

・キャッシュレスやQRコード決済、セキュリティ構築（PCIDSS）等、クレジット分野の開発需要は好調の見込み

クレジットカード市場規模推移と予測*



クレジットカード市場は
2023年に100兆円突破
との予測**

*2019年の矢野経済研究所リリースを元に当社作成
**同リリースより引用（金額は取扱高ベース）

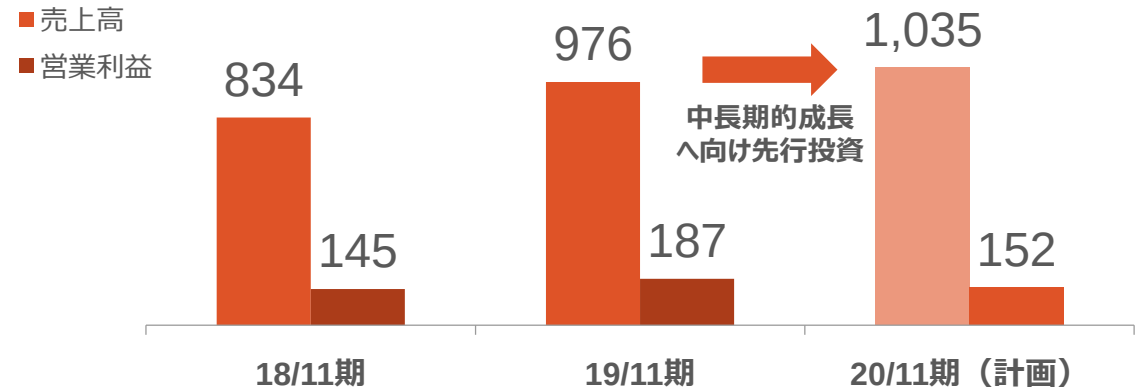
主な子会社の状況：エクスマーション（自動車・メディカル）

（株）エクスマーション（4394・東証マザーズ）



- ・ 組込みソフトウェア開発に特化したコンサルティングファーム
自動運転（CASE*）や医療分野に強み
- ・ 今期（21/11期）は過去に培ったコンサルティングのナレッジのデジタル＆ストック化へ投資するため、通期で減益の予想
- ・ 新型コロナウイルスの影響や戦略的投資が重なり、第2四半期は減収減益

エクスマーション 通期業績予想 （百万円）



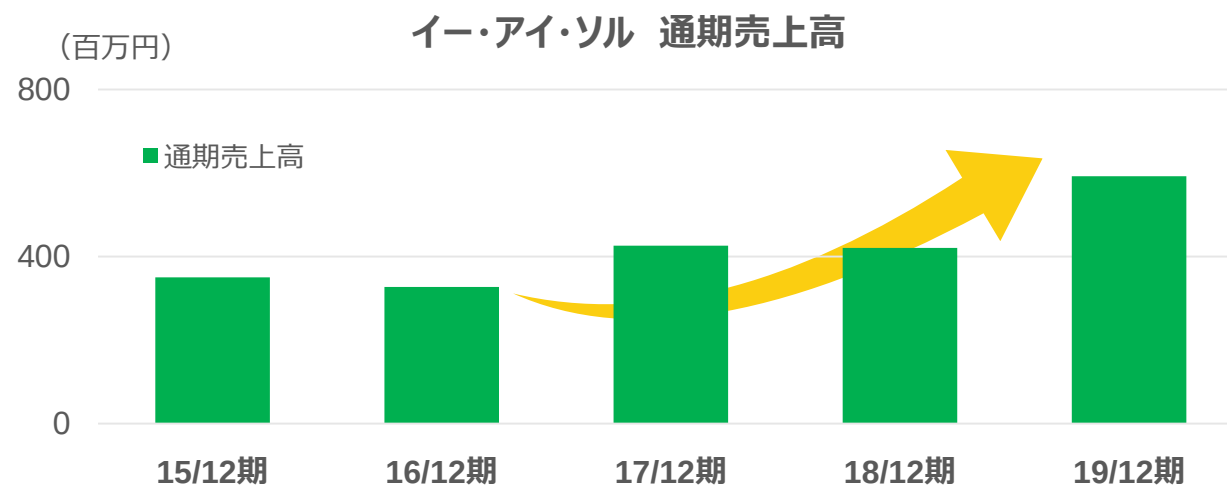
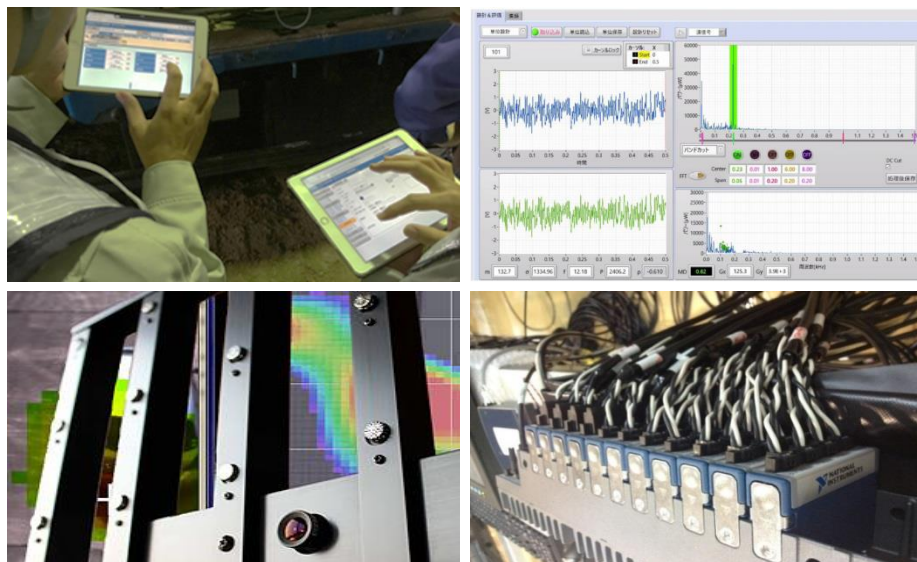
*CASE = Connected（つながる）、Autonomous（自動運転）、Shared（共有）、Electric（電動）、以上の先端技術分野の頭文字を組み合わせた総称

主な子会社の状況：イー・アイ・ソル（IoT・IIoT）

（株）イー・アイ・ソル

E.I.SOL 
Embedded Instrumentation Solution

- ・ IoT（IIoT）・組込・制御・計測関連（特にセンサー系）のソリューションに特化したソフトウェア受託開発業
- ・ IoTを駆使した工場の「予知保全システム」が好調、NI（日本ナショナルインスツルメンツ）社のデバイスCompactRIO等とEISOLの組込ソリューションの組み合わせであり、既に導入実績あり
- ・ 第2四半期は一部案件の期ズレが発生し減収増益も、5G関連や予知保全システムの需要は堅調



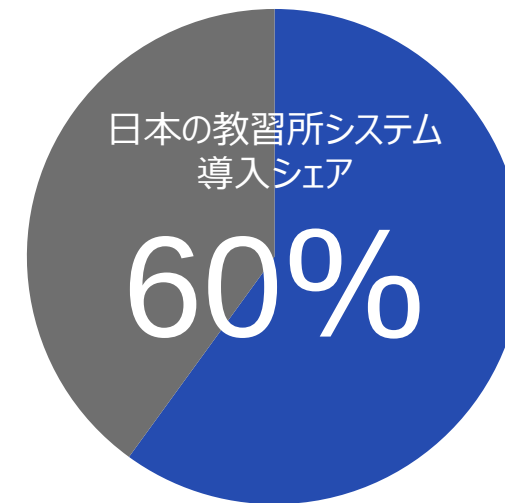
主な子会社の状況：自動車教習所システム（ノイマン）

（株）ノイマン



neumann

- ・ 自動車教習所向けのeラーニングシステムの開発等、各種ソリューションを提供、国内自動車教習所における主力システムの導入シェアはおよそ60%を占める
- ・ 今後は日本と同じ自動車教習の流れがあるベトナム等へ海外進出を本格化する予定だが、新型コロナウイルスの影響により、足元ではベトナムの開発が一時的にストップ
- ・ 第2四半期はコロナ禍により自動車教習所がストップし減収も、利益は確保

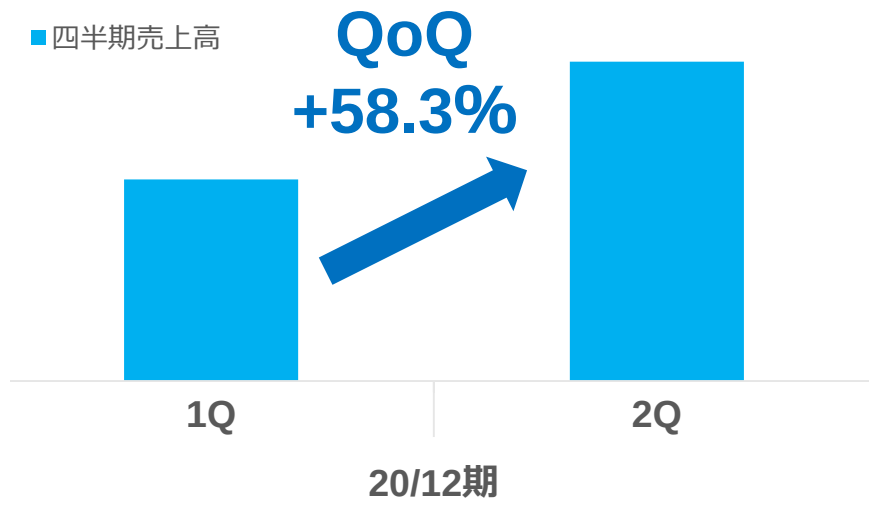


主な子会社の状況：（株）Fleekdrive（クラウドサービス）

（株）Fleekdrive



Fleekdrive 四半期売上高の推移



- ・ 大手含め契約社数は順調に増加し、6月末で500社超、解約率も低い水準で推移
- ・ セールスフォース・ドットコムとも連携、顧客評価で最高位獲得
- ・ 現状国内での競合はなく、最大手の競合は某海外ユニコーン企業
- ・ 既に粗利ベースでは利益貢献をしているものの、営業利益以下での貢献は21/12期以降の予定
- ・ **前四半期対比（QoQ）で売上高は1.5倍超に成長**
- ・ **テレワークに伴う無償キャンペーンにより無料契約数が大きく伸長（数百社）、今後は無料契約の有料化に注力**

通期業績予想：
2020年12月期第2四半期決算



通期業績予想

- ・新型コロナウイルスの業績への影響は不明確だが、現時点ではほぼ計画どおりのため、現時点では据え置き
- ・子会社の先行投資のため前期比では減益のものの、過去最高水準の利益は継続

(単位：百万円)	2019/12期		2020/12期		前年同期比
	実績	売上高比	業績予想	売上高比	
売上高	13,478	-	14,500	-	+7.6%
売上総利益	3,070	22.8%	3,150	21.7%	+2.6%
営業利益	946	7.0%	850	5.9%	-10.2%
経常利益	975	7.2%	850	5.9%	-12.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	567	4.2%	550	3.8%	-3.1%

業績予想進捗

- ・期初より下期偏重の計画としており、概ね想定どおりの進捗
- ・下期も計画どおりの進捗を予定

(単位：百万円)	2020/12期 2Q実績	2020/12期 通期予想	通期進捗
売上高	6,400	14,500	44.1%
売上総利益	1,460	3,150	46.3%
営業利益	360	850	42.3%
経常利益	381	850	44.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益	255	550	46.4%

株主還元方針

- ・配当内容は期初より変更なし
- ・業績や配当性向を考慮しながら、今後も安定した配当の実施を重視
- ・自己株式取得により株主還元を実行

年度	中間	期末	合計	配当性向
2018年12月期	0.00円	15.00円	15.00円	126.0%
2019年12月期	0.00円	16.00円 (19/12/19増配)	16.00円 (19/12/19増配)	34.3%
2020年12月期（予）	0.00円	10.00～ 16.00円	10.00～ 16.00円	-

中期経営計画（19/12期~21/12期） （2019/1/31公表）

※現時点では期初より変更なし



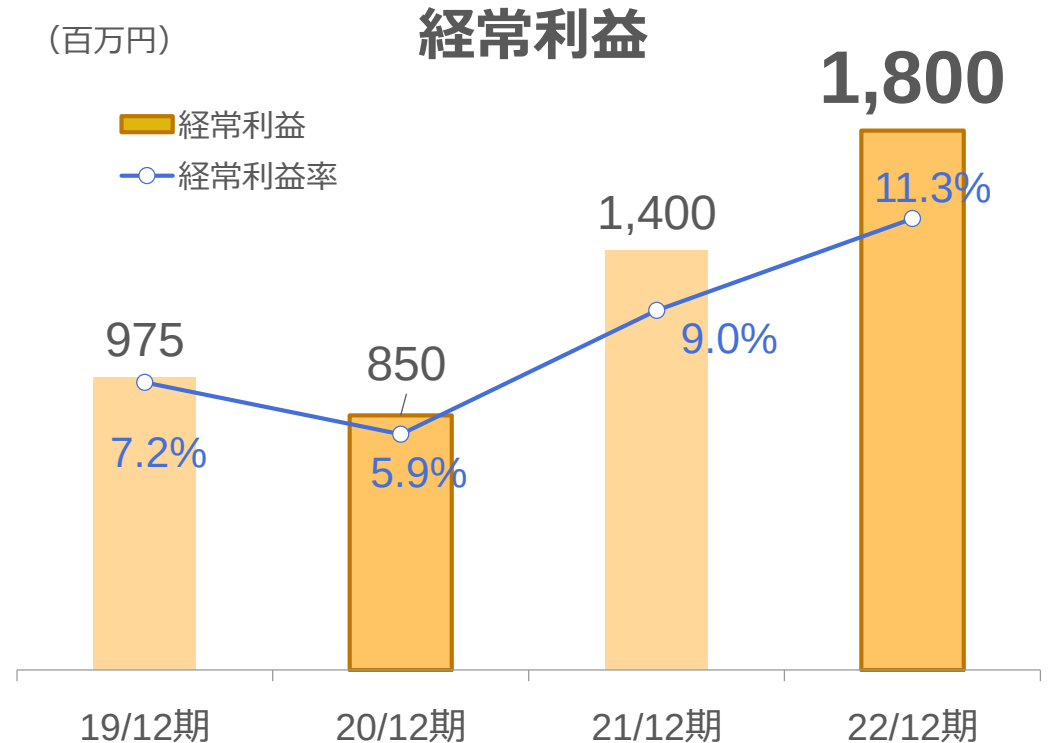
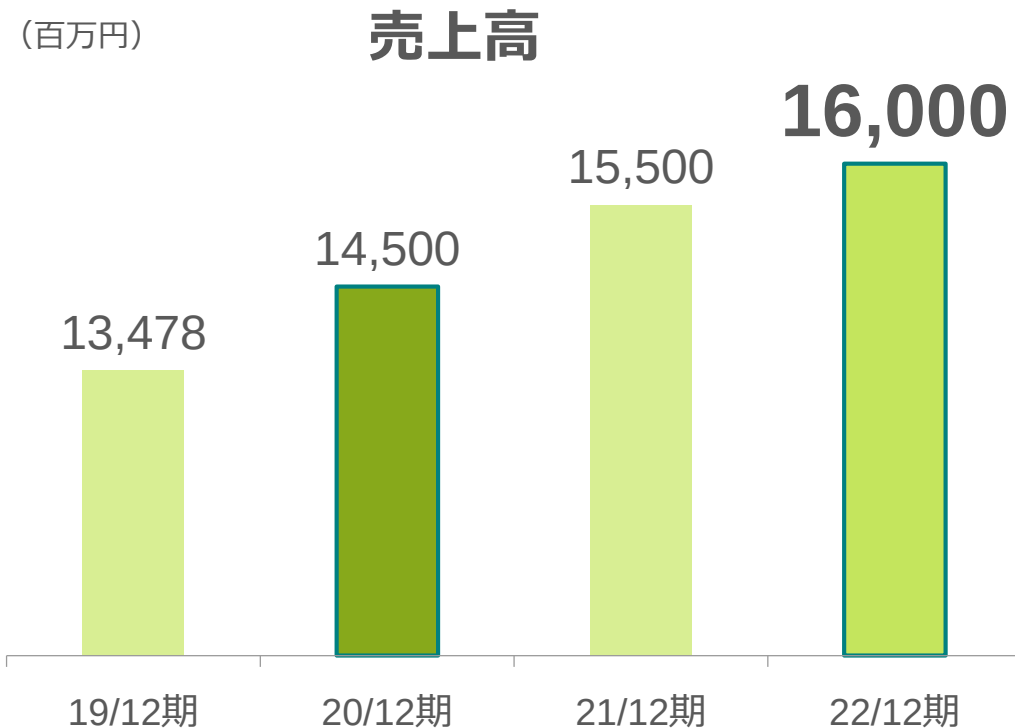
中長期の環境認識/当社戦略方針

- ・クラウド化、IoT、CASE等を前提としたサービスも始まり、デジタルトランスフォーメーション（DX）は一層加速
- ・各分野に特化した子会社によりどの分野にも対応できる技術力がある一方、増えるニーズを取り込みきれぬ組織力の強化が必要

各先端技術	環境認識	当社の戦略方針・施策
全体（DX）	<u>働き方改革や業務効率化の推進</u> により、企業のIT投資・自動化は堅調に推移	当社全体で需要をキャッチアップ
クラウド化	クラウドサービスの利用形態が多岐にわたり、今後はクラウドサービスを最優先とする「 <u>クラウドファースト</u> 」の時代へ	クラウドサービスを提供する(株)Fleekdriveを中心に展開。 <u>AIのサービス化とのシナジー</u> 、海外展開も視野に重点的に展開
IoT	業務効率化やコスト削減を目的としたIoT利用の時代から、 <u>IoTを前提とした新サービス創出の時代へと移り、需要も好調。</u>	IoT事業推進室を中心に、子会社で強みを持つ <u>センサー技術</u> を組み合わせ、 <u>工場での予知保全システム等、IIoTも視野に入れた新ソリューションを創出</u>
CASE	2020年以降、自動運転レベル3の車両が一般化の見込み。次世代コネクティッドカーなど、 <u>車両に追加されるソフトウェアは急増へ。</u>	グループ会社を中心とし支援体制を深耕。急増するニーズを取り込みきれぬ体制づくりのための先行投資も強化
FinTech&AI	FinTechは <u>個人のキャッシュレス化から金融機関の送金システム等、金融の業務部分まで範囲が拡充</u> 。ブロックチェーンやICOも研究が進む。 AIはAIスピーカー等、個人利用の拡大の他、 <u>RPA導入も進む。</u>	FinTechではSBIグループの「 <u>証券コンソーシアム</u> 」への参加・協力等、将来的な関連開発の案件獲得に向け下準備を進める。 AIでは資本参加により可能となったAIサービス化により、クラウドサービスとのシナジー創出に取り組む。

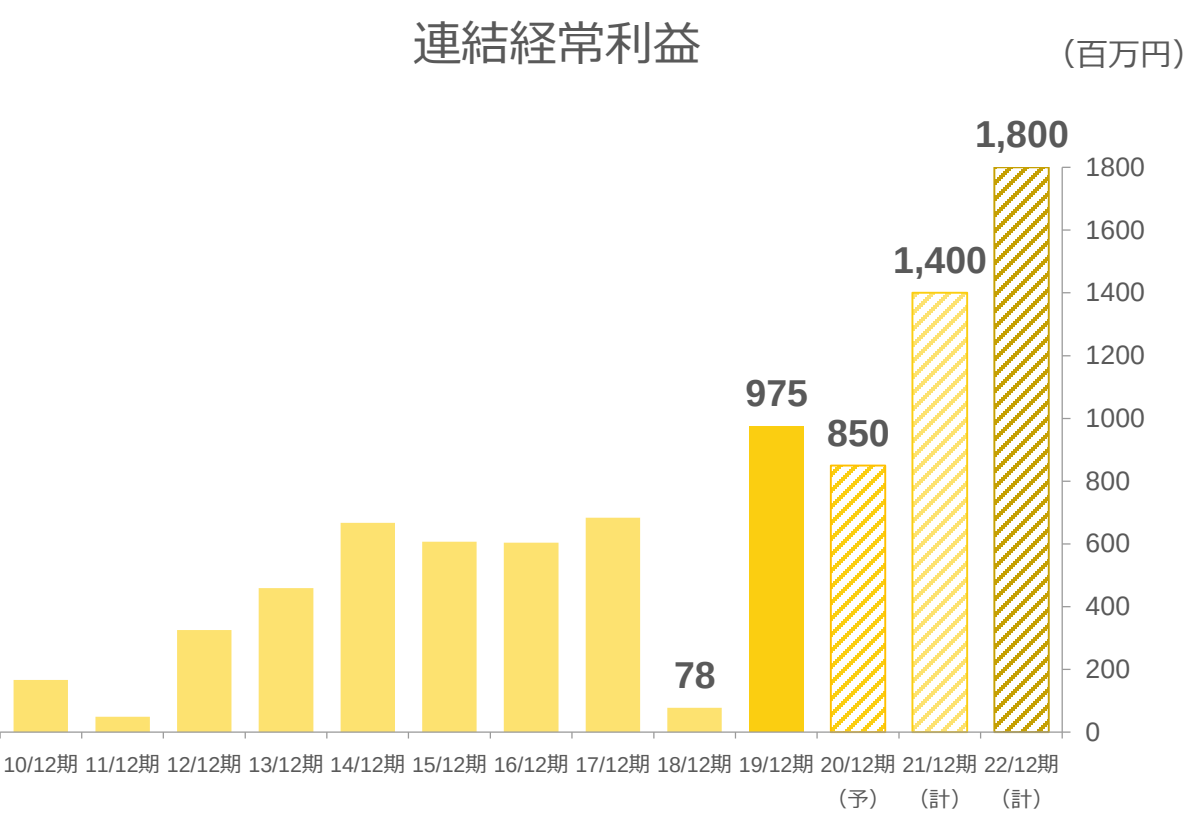
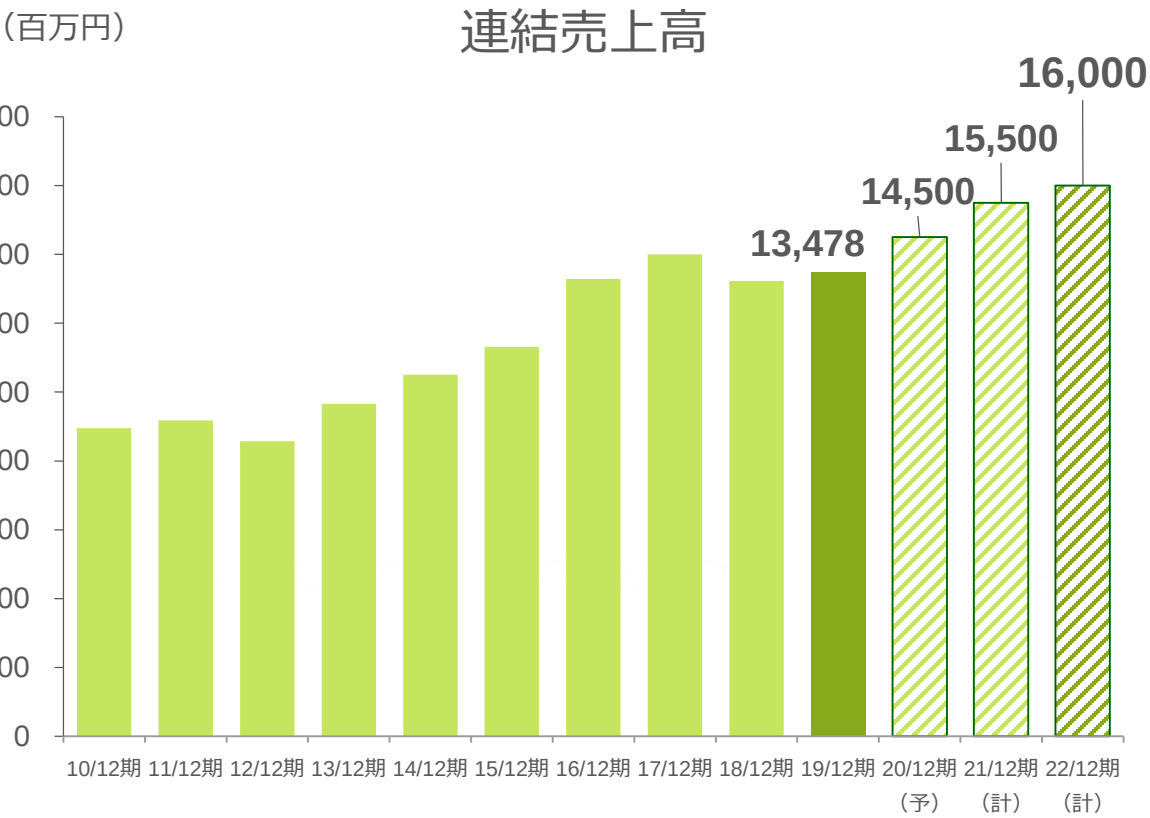
中期経営計画

- 売上高については長期的に堅調なものの、ストックビジネス強化に人員を割くため、保守的に設定
- クラウドサービスの黒字化や今期の先行投資による経営基盤強化などで、利益面については今後も高い伸びを見込む
- **新型コロナウイルスの影響は大きいものとは見込んでおり、現時点で期初より変更なし**



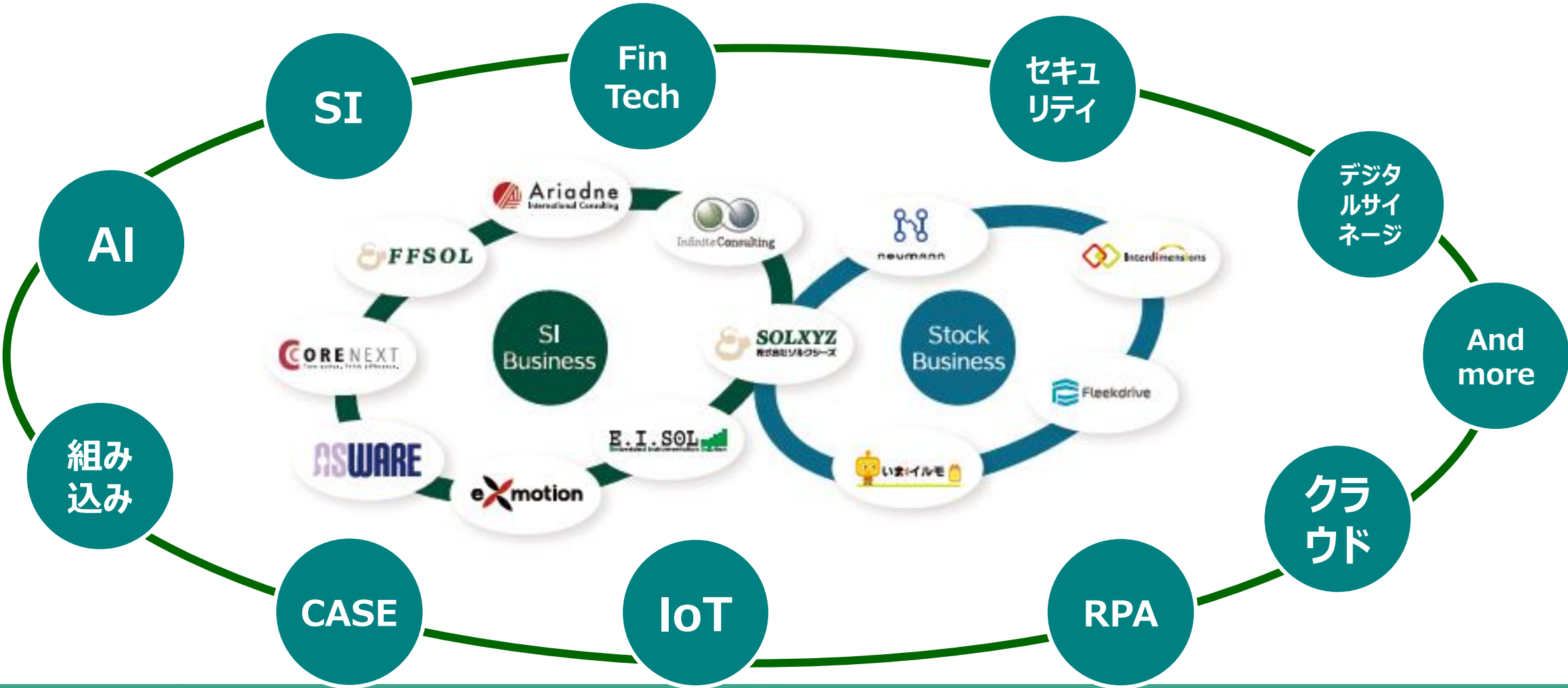
過去最高水準の業績へ

- ・売上高については過去最高値を每期更新の見込み
- ・営業&経常利益については先行投資で今期は減益も、同じく過去最高水準の数値を計画



基本方針：グループ全体で最新分野をカバー（専門店化戦略）

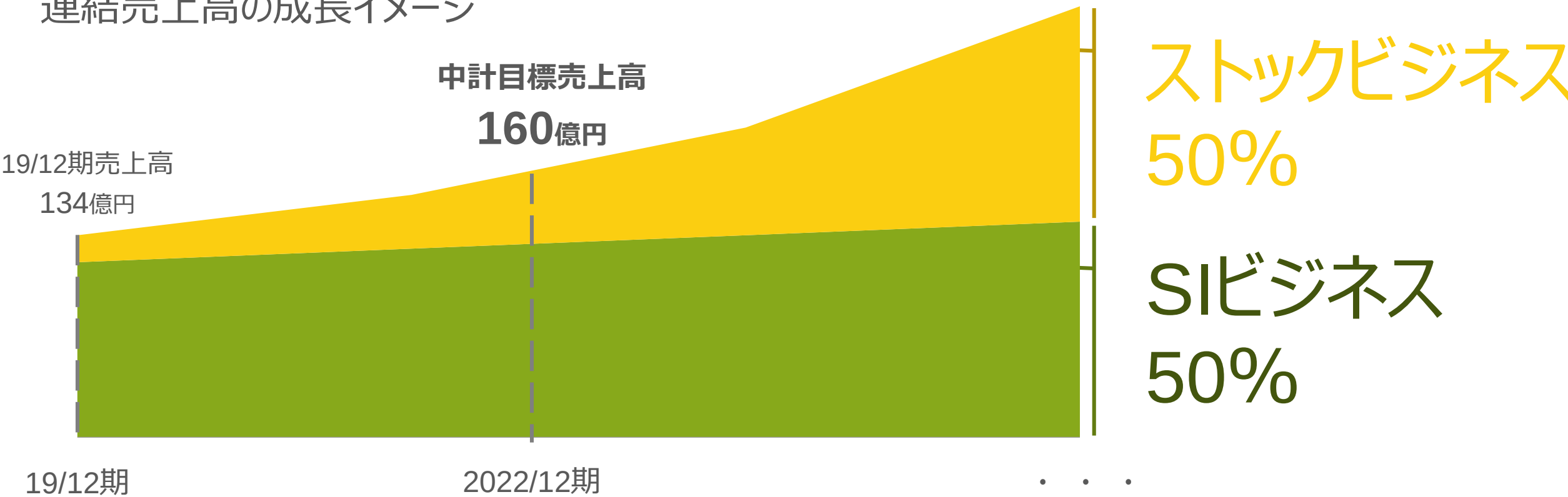
- 各分野で専門化された子会社を端緒に、最先端のニーズを確保



基本方針：SIとストックビジネスの比率を50：50へ

- SIビジネスをベースとしながら、長期的にはストックビジネスを拡大、それぞれが50:50となるようビジネスを展開

連結売上高の成長イメージ



APPENDIX



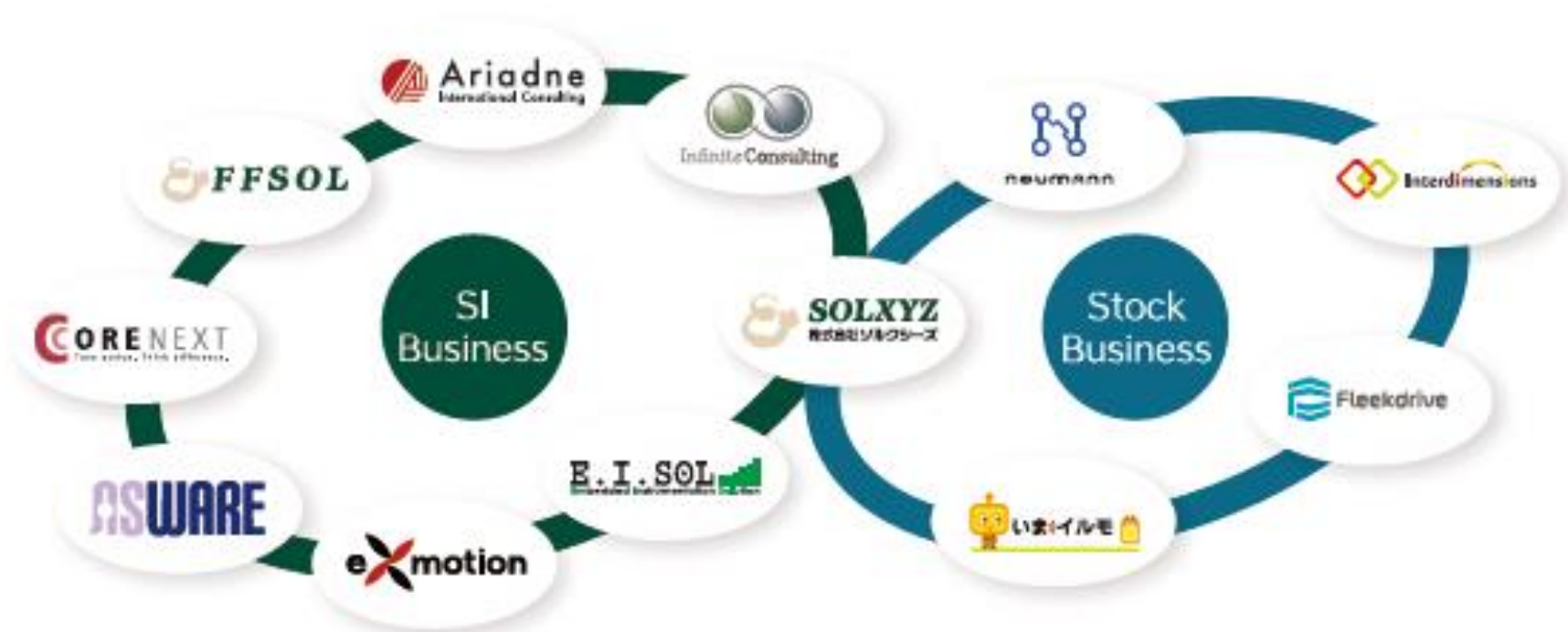


「情報技術の分野で究極の問題解決を提供し、お客様の夢を実現する
ソリューション・カンパニーを目指します。」

経営理念

1. 高い技術力を持ち社会に貢献する
2. お客様に最高の満足を提供する
3. 皆が夢を持ち続けられる企業を目指す
4. 新ビジネス・新技術へチャレンジする
5. グローバル企業を目指す

グループ概要（SIビジネスとストックビジネスの両輪）

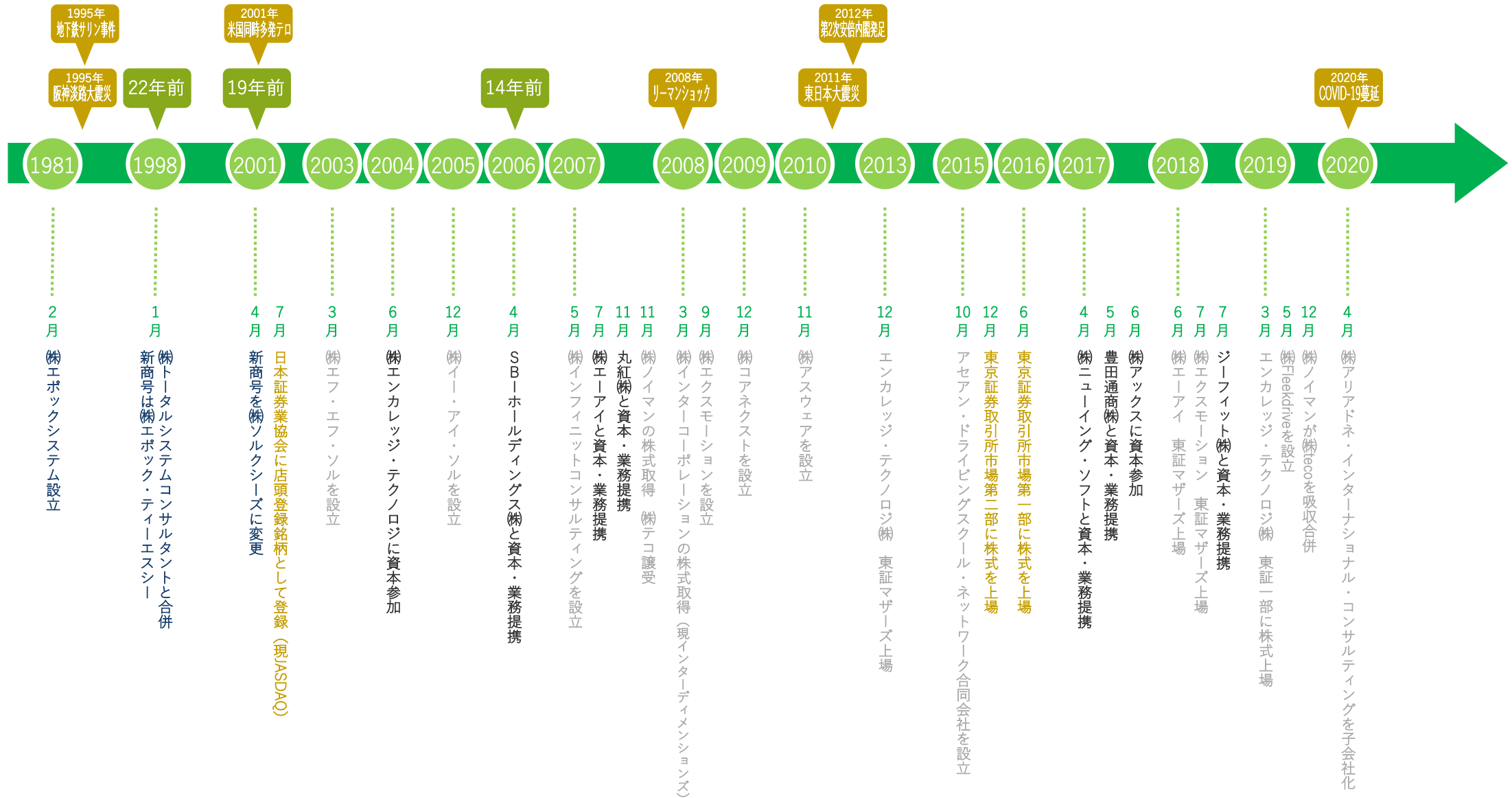


S Iビジネス		
会社／サービス名	事業／サービスの内容	主要顧客
インフィニットコンサルティング	S I 上流工程のコンサルティング	証券業、電気機器業、医療機器業
エフ・エフ・ソル	S I 銀行系に特化	ネットバンク、都銀、地銀、信用金庫
コアネクスト	S I 投資顧問系に特化	投資信託業、投資顧問業
アスウェア	S I ICTインフラの設計・構築・保守	SIベンダー、通信業
エクスマーシオン	組込 製造業等の設計支援	自動車製造業、医療機器製造業
イー・アイ・ソル	組込 制御・計測系の組込システム、IoT	装置製造業、計測機器製造業
NEW! アリアドネ・インターナショナル・コンサルティング	SI クレジット業務全般に関する企画、提案、 コンサルティング	信販・クレジット

ストックビジネス		
会社／サービス名	事業／サービスの内容	主要顧客
ノイマン*1	教育機関向けソリューション開発・販売	自動車教習所、学校、塾
インターディメンションズ	デジタルサイネージ、AV、セキュリティ設置販売	商業施設、文教施設、自治体
いまイルモ	IoTによる見守りサービス	個人、介護施設
(株)Fleekdrive	クラウド環境上でのコラボレーションソリューション	各種企業

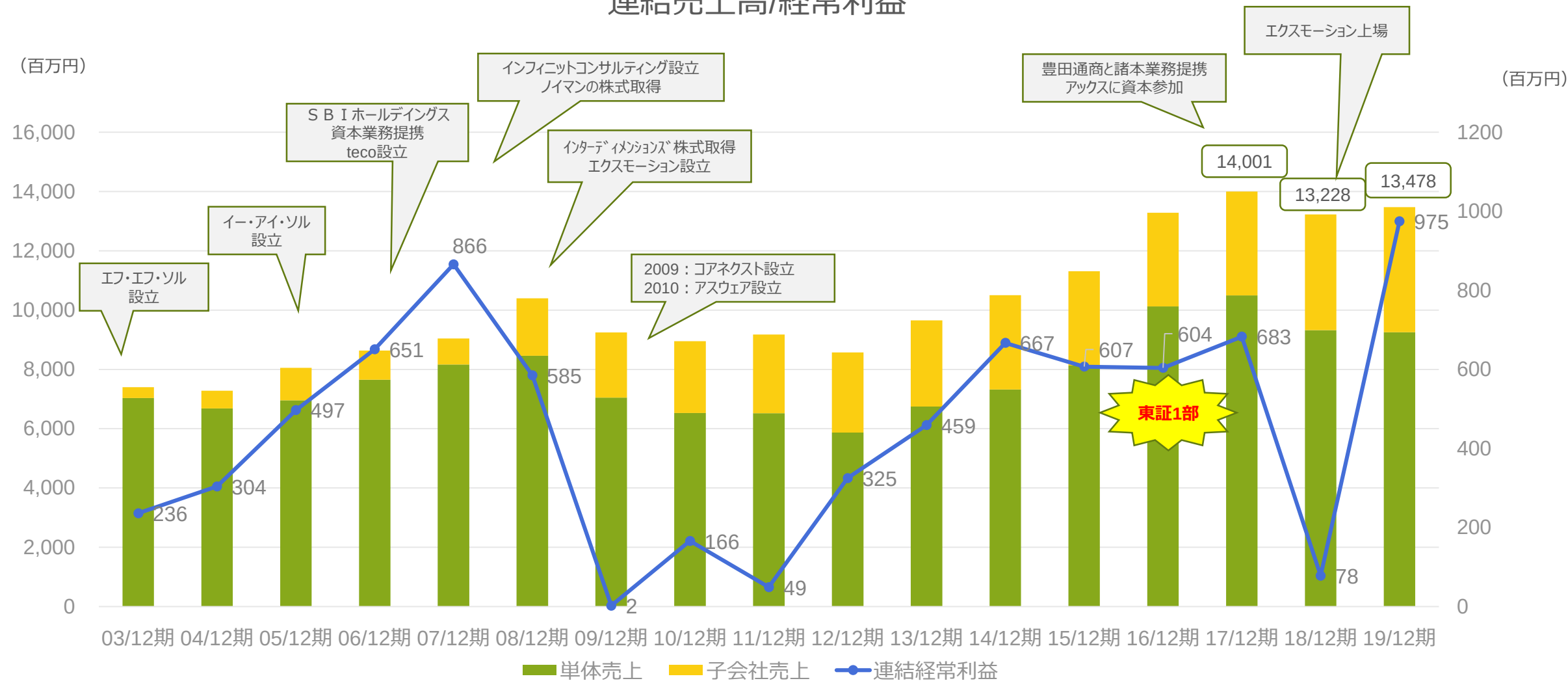
※ 19/12よりノイマンはtecoを吸収合併

沿革



沿革と業績推移

連結売上高/経常利益



会社概要



株式会社ソルクシーズ

〒108-0023 東京都港区芝浦3-1-21

- 金融・通信・基盤分野などのシステム開発に専門特化
- 生活や企業のシステムを支えるインフラを、ワンストップで構築・運用する企業集団

- 社長 : 長尾 章
- 設立 : 1981年2月 (2020年度は41期目)
- 資本金 : 14億9,450万円 (2020年6月末現在)
- 売上高 : 132億2,863万円 (2019年12月期連結実績)
- 営業利益 : 6,346万円 (同上)
- 従業員 : 746名 (2020年6月末現在連結合計)

- 主要株主 :

SBIホールディングス(株)	2,150千株	16.0%
(株)ビット・エイ	1,320千株	9.8%
長尾 章	559千株	4.2%
(株)ヤクルト本社	530千株	4.0%
豊田通商(株)	134千株	1.0%
※自社株	1,370千株	10.2%
※発行済株式数	13,410千株	

(2020年6月末現在)

- 上場市場 : 東京証券取引所 市場第一部 (証券コード: 4284)

- グループ会社

(株)エフ・エフ・ソル	(95.9%)
(株)イー・アイ・ソル	(100.0%)
(株)インフィニットコンサルティング	(100.0%)
(株)ノイマン	(100.0%)
(株)インターディメンションズ	(100.0%)
(株)エクスモーション 東証マザーズ (4394)	(57.2%)
(株)コアネクスト	(100.0%)
(株)アスウェア	(100.0%)
アセアン・ドライビングスクール・ネットワーク(同)	(75.7%)
(株)Fleekdrive (2019年5月7日営業開始)	(100.0%)
(株)アリアドネ・インターナショナル・コンサルティング	(76.9%)

- 親密出資先

エンカレッジ・テクノロジ(株)	東証マザーズ (3682)	(3.4%)
(株)エーアイ	東証マザーズ (4388)	(7.1%)

免責事項

当資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略等に関する情報は、当資料作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で行った判断に基づくものです。

しかしながら、実際には通常予測し得ないような特別事情の発生または通常予測し得ないような結果の発生等により、当資料記載の業績見通しとは異なるリスクを含んでおります。

当社は、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的開示に努めてまいりますが、当資料記載の業績見通しのみに全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えになられるようお願いいたします。

なお、いかなる目的であれ、当資料を無断で複製、または転送等を行われないようにお願いいたします。

【本資料へのお問い合わせ先】

株式会社 ソルクシーズ 経営企画室 秋山

E-mail: ir-post@solxyz.co.jp

Tel: 03-6722-5011 Fax: 03-6722-5021

<https://www.solxyz.co.jp>